

## 平成28年度 第6回牧区地域協議会 次第

日時：平成28年9月29日（木）

午後6時30分～

会場：牧区総合事務所301会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

（1）地域活動支援事業採択方針の協議について…資料1

（2）牧区・清里区地域協議会合同研修会の提出課題について…資料2

4 その他

5 閉 会

## 牧区・清里区地域協議会合同研修会提出課題

区分	No	課 題
(1) 地域振興について	1	星のふるさと館は、市内外の皆さんから利用されている施設だと思いますが、PR等で工夫されている点と活用状況をお聞きしたい。
	2	貴区も田舎体験の受入をされていると思いますが、更に活動の輪を広げられるように、区間の連携についてお考えを聞きたい。
	3	信越トレイルの活用についてお聞きしたい。牧区では深山荘や、牧地域づくりふるさと協会がイベントを行っていますが、イベントを共同開催するお考えはないでしょうか。
	4	少子高齢化が進む中、子育て世代の増・定着化について取組まれていれば、教えていただきたい。
(2) 地域活動支援事業について	1	補助金の上限を設けないメリット、デメリットについてお聞きしたい。
	2	同一団体が、毎年継続して申請された場合、何らかの規制をされているか、教えていただきたい。
(3) 地域協議会の活動について	1	牧区では平成25年度を最後に、自主的審議事項の提案がされていないことから、今期新体制になったのを機に取り組みたいと考えています。そこで、貴区が地域の課題をどのように取り上げ、まとめられているかお聞きし、参考とさせていただきたい。
	2	将来的に、総合事務所の業務が基幹総合事務所に集約される可能性も否定できず、基幹総合事務所以外の存続について不安があるが、そのことについてどのように考えるか。

項目	現行	意見・課題の内容	8/29検討結果(採択方針の変更等)	8/29検討結果(審査方法・採択基準の変更等)
1 事業の内容について	<p>以下の内容をすべて満たしている事業を採択する。</p> <p>(1) 牧区に定住する人材の育成又は確保につながる事業であること。 (直接的な雇用促進事業や社会教育事業だけでなく、産業の振興、環境保全や助け合い活動など、牧区における生活環境の維持、向上につながる間接的な事業も含みます。)</p> <p>(2) 既存事業においては、これまでの懸案事項や課題点を解決するための新しい工夫が追加されていること。</p> <p>(3) 調査、研修及び計画づくり事業においては、次年度以降に本事業が実行されることが確実に見込まれること。</p>	<p>①優先順位、採択事業項目の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内の問題点解決に繋がる事業、区全体の取組となる事業</li> <li>歴史・文化・景観の整備・継承</li> <li>住民の交流を活発化する事業</li> <li>青少年育成に関する事業 など</li> </ul> <p>②提案内容の制限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>備品購入、修繕は対象外とする</li> <li>スポーツなら全体で1つにしてほしい。</li> <li>提案が重ならないように、聞き取りの際に事務局で調整する など</li> </ul> <p>③制度の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体に活用いただけるための努力</li> <li>高齢者等にも提出しやすい方法の検討 など</li> </ul> <p>※意見なし・・・2件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化、景観整備の継承、青少年育成事業等を優先事業としてはどうか。</li> <li>順番性、優先順位を決めることにより、より濃厚な事業ができるのではないかと。</li> <li>優先的に採択する分野や事業を明確にする。</li> <li>継続して提案のあった事業は採択しない。</li> <li>対象外の事業を定めるか、これまでどおり提案された時点で判断するのか。</li> <li>備品や私益を入れてはいけないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小人数の組織ではなく、牧区全体に係るような事業提案をしてほしい。</li> </ul>
2 補助率及び補助限度額について	<p>(1) 補助金額の上限は50万円とし、補助率は原則100%とする。 (ただし、共通審査基準の採点を基に、傾斜配分により減額する。)</p> <p>(2) 共通審査基準採点後の補助金総額が、牧区への配分額を上回った場合は一律減額し、それに満たなかった場合は地域協議会において2次募集の実施等について協議を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【審査方法及び採択基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本審査項目及び牧区採択方針の2項目それぞれについて、委員の半数以上が適合とした場合は採択とする。</li> <li>共通審査項目は、各項目それぞれ12点(ただし、②必要性は16点)の5項目の合計が64点満点とし、傾斜配分により減額を行う。</li> <li>傾斜配分は各委員の平均点が54点以上は100%、41点以上は90%、28点以上は80%、</li> </ul> </div>	<p>①補助金額上限・下限の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率はそのままで、限度額を100万円にし、区を代表するような大きな提案に対応できるようにする。</li> <li>上限なしで下限10万円以上とする。</li> </ul> <p>②補助率の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不採択事業のハードルを上げ、補助率を最低30%程度まで下げることにより、提案者は緊張を持って臨める。</li> <li>事業内容によっては、満額でなければ実施できない場合も考えられるため、傾斜配分はなくし、100%か不採択がよい。</li> </ul> <p>③経年数による差を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年連続は20%カット、3年・4年連続は50%カットとする。</li> </ul> <p>※現行のままでもよい・・・4件</p> <p>※意見なし・・・2件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下限を設定しなくてよいか。</li> <li>上限を上げるか制限なしとすればよいのではないかと。</li> </ul>	
3 提案事業の審査と決定について	<p>(1) 牧区地域協議会委員による聞き取り調査を行い、その後の会議(審査会)において審査、採択等を決定する。</p> <p>(2) 採択は「基本審査」、「牧区の採択方針」及び「共通審査基準」それぞれ(3) 提案の状況によっては、複数の事業を提案した団体からの採択は1事業とする場合がある。</p>	<p>①ヒアリングの実施方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアリングは2日間にし、夜やってほしい。</li> <li>ヒアリングの後の採点は、十分な時間が必要。考える時間がほしい。</li> <li>ヒアリング後、委員間の確認時間を設けることが必要ではないか。</li> </ul> <p>②複数回採択された事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要性等、十分な調査が必要</li> </ul> <p>③採択の基準等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>採択は委員のポイントが多い順に採択してほしい。</li> <li>高田地区に見習い、基本審査で不適合とした委員の共通審査項目採点の不参加を推奨する。</li> <li>審査し点数を付けているので、それを生かして採択の可否をする現行の方法はよいと思う。</li> <li>委員は提案者の顔もわかり、やさしさもありで、全て採択となってしまう。事例を示すなどして、可否をもっと明確にすべき。</li> </ul> <p>④結果の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結果についての検証が必要。</li> </ul> <p>⑤事務局における事前審査の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回は提案が重なったりして、事務局の方で聞き取りの時、もっと調整してはどうか。</li> <li>事業提案書の受付時点での基本ヒアリングを実施すべき。プレゼンの事業内容の充実が期待でき、また、そぐわない事業内容にはその場で却下の判断が下せる。</li> </ul> <p>※意見なし・・・2件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続事業の扱いをどうするか。</li> <li>複数採択の検討をどのようにするか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアリングを2回実施してほしい。</li> <li>一団体当たりの聞き取り時間をもう少しかけてヒアリングを行うのがよい。</li> <li>採択か不採択か、どちらかにした方がよいと思う。</li> <li>写真検証してはどうか。</li> <li>委員で手分けし、事業の内容確認やイベントに参加してはどうか。</li> <li>提案できるか取りまとめた段階で、委員間で話し合い、優先順位や採択・不採択の検討をする時間が必要ではないか。</li> </ul>
4 その他		<p>その他意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績報告は必ず行い、誰が見ても有効に使われているか、確認できる必要があると思う。</li> <li>残金があるからと、追加募集することは、結果的にバラマキに近いのでは。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容の重複を防ぐため、事務局の聞き取りの際に調整してはどうか。</li> <li>提案者にアドヴァイスしながら、一緒に用紙を記入してあげられるような方向付けとする。</li> </ul>